

専 門 教 養
令和 2 年 7 月
60 分

受 験 教 科 等
特別支援学校 家 庭

## 注 意

- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン等の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、25ページです。はじめにページ数を確かめてください。
- 7 解答用紙に、**必要事項の記入やマークがない場合や誤っている場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号を記入し、受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名を記入**してください。ただし、【3】の選択問題を表す欄のマークは**不要**です。
- 8 この問題は、**教科等に関する問題 1 ~ 7**、**特別支援教育の専門に関する問題 I ~ IV**の各問題から構成されています。
- 9 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 10 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年、平成30年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 11 問題の内容についての質問には一切応じません。

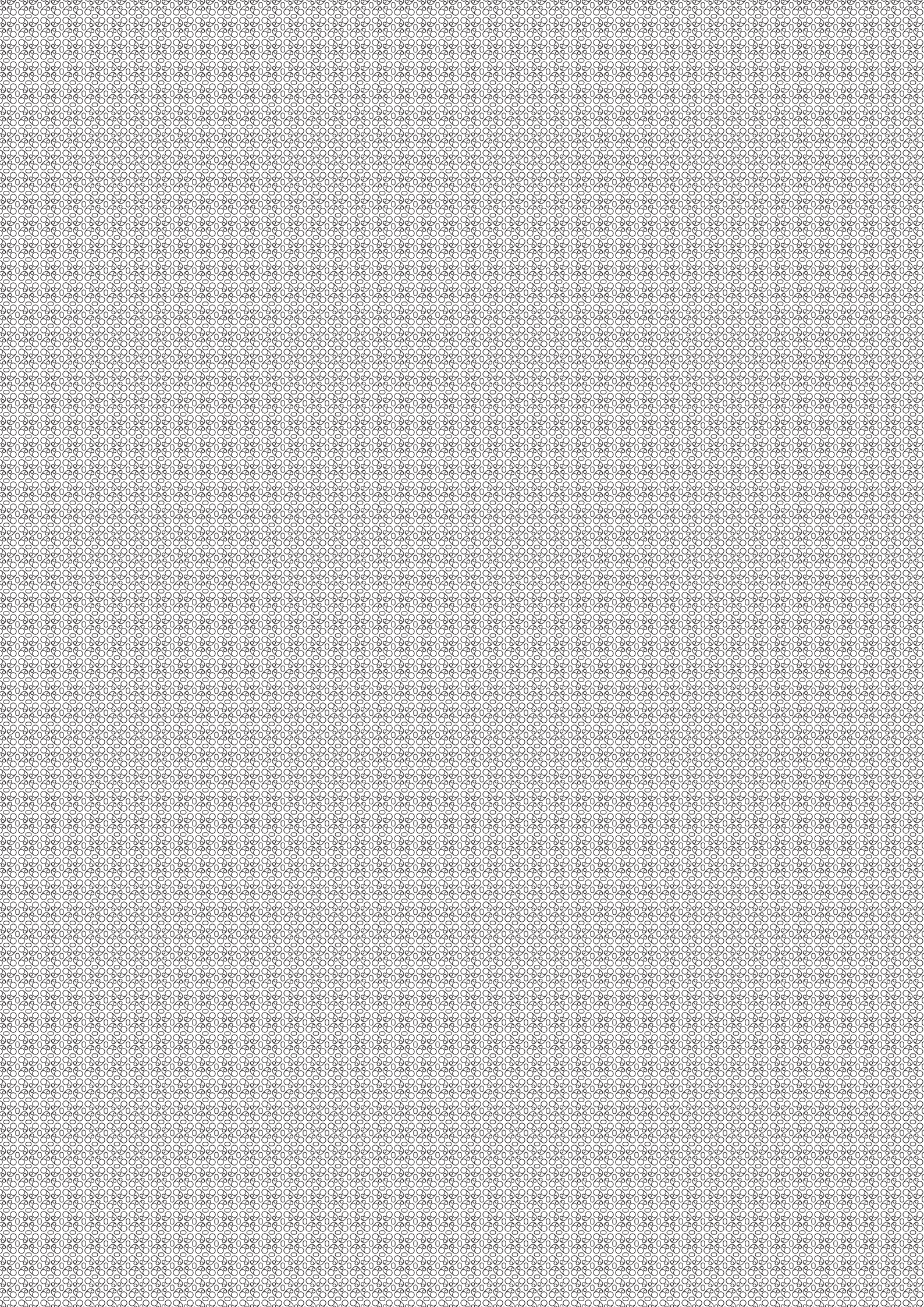
## 解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。問題には、選択肢から選び解答する場合や、数字又は符号（-）を入れて問題文を完成させて解答する場合などがあり、解答方法が複数ある場合とどれか一つのみの場合とがあります。
- 2 「解答番号は 1。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の（例1）のように解答番号 1 の解答欄の③にマークしてください。

（例1）

解答番号	解答欄
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span>	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載してあります。問題冊子を裏返して必ず読んでください。



## 教科等に関する問題

**1** 家族・家庭生活に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の文**ア**～**オ**のうち、民法に規定されている条文の組合せとして適切なものは、下の**1**～**5**のうちのどれか。解答番号は 。

**ア** 胎児は、相続については、既に生まれたものとみなす。

**イ** 出生の届出は、十四日以内（国外で出生があつたときは、三箇月以内）にこれをしなければならない。

**ウ** 相続は、死亡によって開始する。

**エ** 婚姻は、両性の合意のみに基いて成立し、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない。

**オ** 親権を行う者は、子の利益のために子の監護及び教育をする権利を有し、義務を負う。

1 ア・イ・エ

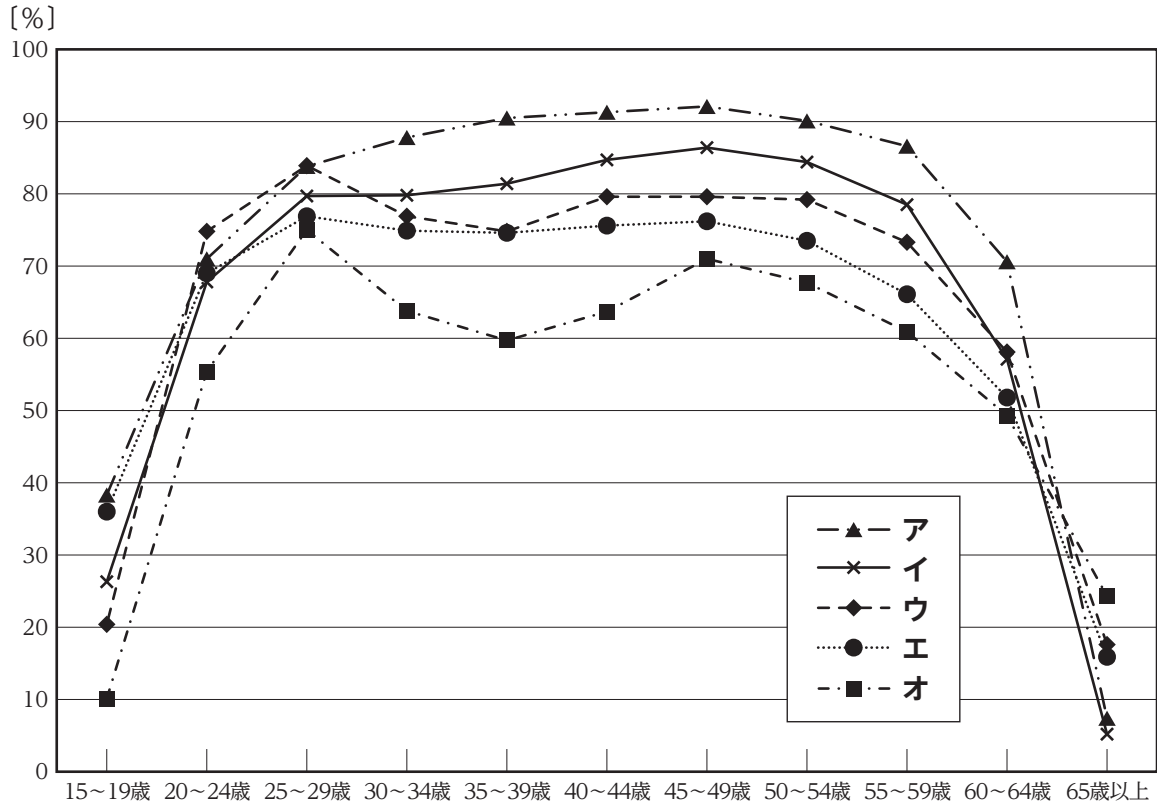
2 ア・イ・オ

3 ア・ウ・オ

4 イ・ウ・エ

5 ウ・エ・オ

[問 2] 次のグラフは、主要国における女性の年齢階級別労働力率を示したものであり、グラフ中のア～オはそれぞれ、日本、スウェーデン、ドイツ、アメリカ、韓国のいずれかが当てはまる。ア～オに当てはまるものの組合せとして適切なものは、下の1～5のうちのどれか。解答番号は  。



(備考) 1. 日本は総務省「労働力調査(基本集計)」(平成30年)、その他の国はILO「ILOSTAT」より作成。ドイツ、スウェーデン及びアメリカは平成30(2018)年、韓国は平成29(2017)年の値。  
 2. 労働力率は、「労働力人口(就業者+完全失業者)」/「15歳以上人口」×100。  
 3. アメリカの15～19歳の値は、16～19歳の値。

(内閣府「男女共同参画白書 令和元年版」から作成)

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	スウェーデン	アメリカ	韓国	ドイツ	日本
2	アメリカ	スウェーデン	韓国	ドイツ	日本
3	スウェーデン	ドイツ	韓国	アメリカ	日本
4	アメリカ	スウェーデン	日本	ドイツ	韓国
5	スウェーデン	ドイツ	日本	アメリカ	韓国

2

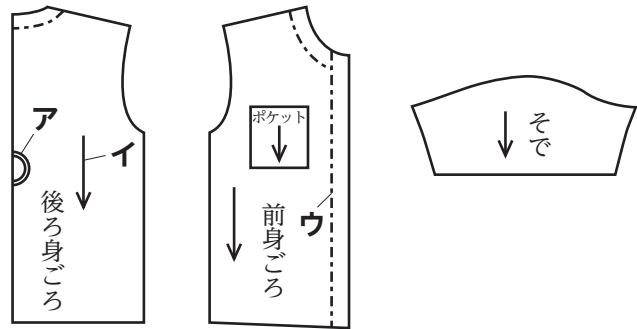
衣生活に関する次の問に答えよ。

[問] 次の図1、図2は、男女兼用のカジュアルなシャツを、綿織物のブロードでミシンを用いて製作するときのデザインと製図である。下の(1)及び次のページの(2)、(3)の各問に答えよ。

図1 デザイン



図2 製図



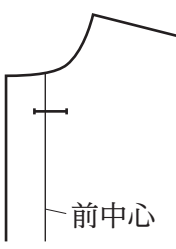
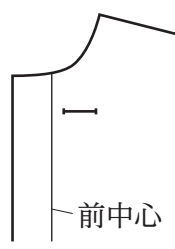
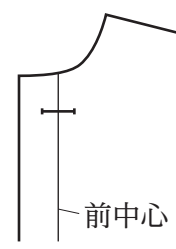
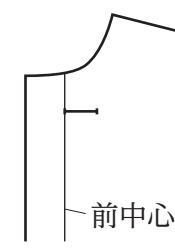
(1) 図2の、JIS L 0110：2001における衣料パターンの表示記号ア～ウに当てはまる表示事項の組合せとして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は  。

- |   |              |        |         |
|---|--------------|--------|---------|
| 1 | アー別々の型紙を続ける印 | イー地の目線 | ウーステッチ線 |
| 2 | アー別々の型紙を続ける印 | イー方向線  | ウー見返し線  |
| 3 | アーわな裁ち線      | イー地の目線 | ウー見返し線  |
| 4 | アーわな裁ち線      | イー方向線  | ウーステッチ線 |

(2) 図1のシャツに横穴のボタンホールを開けるとき、ボタンホールの大きさに関する記述ア～エと、ボタンホールを開ける位置に関する図3のA～Dとの組合せとして適切なものは、下の1～8のうちどれか。解答番号は  。

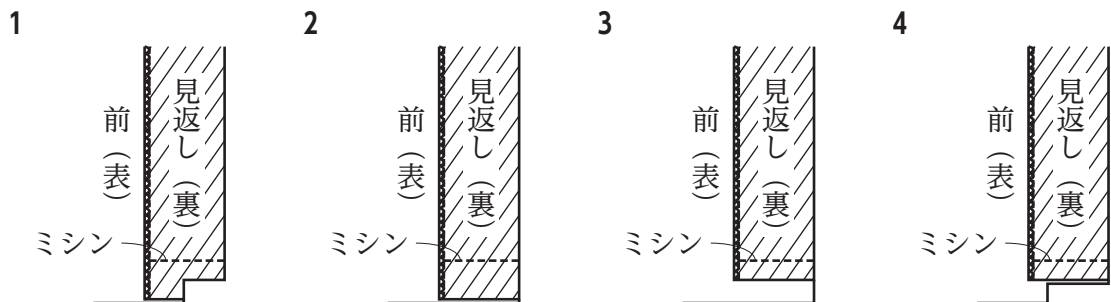
- ア 使用するボタンの直径
- イ 使用するボタンの直径×1.5
- ウ 使用するボタンの直径+ボタンの厚み
- エ 使用するボタンの直径+ボタンの厚み×1.5

図3

A	B	C	D
			
前中心より0.2～0.3cm出して開ける。	前中心より0.2～0.3cm身ごろ寄りに開ける。	前中心にボタンホールの中心がくるように開ける。	前中心に合わせて開ける。

- 1 ア-B      2 ア-C      3 イ-A      4 イ-D
- 5 ウ-A      6 ウ-C      7 エ-B      8 エ-D

(3) 図1のシャツの見返しの裾の始末として最も適切なものは、次の1～4のうちどれか。解答番号は  。



**3** 食生活に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次のでんぷんに関する記述**ア**~**ウ**と、その加工品名A~Cとの組合せとして最も適切なものは、下の**1**~**6**のうちではどれか。解答番号は **6**。

**ア** キャッサバの根から作られるでんぷんで、保水力、膨潤力、溶解性にすぐれ、老化しにくい。プディングなどに用いられる。

**イ** ジャガイモから作られるでんぷんで、強い粘着性をもち、透明度が高い。あんかけ料理などに用いられる。

**ウ** 麩を製造する際の副産物として得られるでんぷんで、不透明でもろく弱い。菓子原料などに用いられる。

- A 片栗粉
- B タピオカ
- C 浮き粉

- |          |             |             |             |
|----------|-------------|-------------|-------------|
| <b>1</b> | <b>ア</b> -A | <b>イ</b> -B | <b>ウ</b> -C |
| <b>2</b> | <b>ア</b> -A | <b>イ</b> -C | <b>ウ</b> -B |
| <b>3</b> | <b>ア</b> -B | <b>イ</b> -A | <b>ウ</b> -C |
| <b>4</b> | <b>ア</b> -B | <b>イ</b> -C | <b>ウ</b> -A |
| <b>5</b> | <b>ア</b> -C | <b>イ</b> -A | <b>ウ</b> -B |
| <b>6</b> | <b>ア</b> -C | <b>イ</b> -B | <b>ウ</b> -A |

[問 2] 次の条件に合わせて 6 人分のつみれ汁を作るとき、必要な材料を示した下の図中の空欄 **ア** ~ **ウ** に当てはまる数字の組合せとして最も適切なものは、下の 1 ~ 4 のうちではどれか。解答番号は **7**。

条件

いわしはすり身にして 1 人分 55g 必要 (廃棄率 45%)

汁の塩分濃度は 0.8%

塩としょうゆの塩分の割合は 3 : 2

しょうゆ 6 g を塩分 1 g と換算

図

材料 (6 人分)	必要な量
一尾 120g のいわし	<b>ア</b> 尾
しょうが	15 g
小麦粉	12 g
だし汁	840 g
塩	約 <b>イ</b> g
しょうゆ	約 <b>ウ</b> g

- |   |            |            |             |
|---|------------|------------|-------------|
| 1 | <b>ア</b> 3 | <b>イ</b> 2 | <b>ウ</b> 6  |
| 2 | <b>ア</b> 3 | <b>イ</b> 2 | <b>ウ</b> 12 |
| 3 | <b>ア</b> 5 | <b>イ</b> 3 | <b>ウ</b> 12 |
| 4 | <b>ア</b> 5 | <b>イ</b> 4 | <b>ウ</b> 16 |



4 住生活に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の記述は、良好な室内環境に関するものである。「建築基準法」、「J I S 照度基準」、「騒音に係る環境基準について」(環境省)に照らしたとき、文中の空欄 **ア** ~ **エ** に当てはまる数値の組合せとして適切なものは、下の 1 ~ 9 のうちのどれか。解答番号は **8**。

- ・ 住宅、共同住宅の居室には、採光のための窓その他の開口部を設け、その採光に有効な部分の面積は、その居室の床面積に対して **ア** 以上としなければならない。
- ・ 居室には、原則として全ての居室について換気のための窓その他の開口部を設け、その換気に有効な部分の面積は、その居室の床面積に対して **イ** 以上としなければならない。
- ・ 住宅の居間で読書をするときの明るさは、**ウ** ルクス程度が必要である。
- ・ 住宅地(専ら住居の用に供される地域及び主として住居の用に供される地域)の昼間(午前6時から午後10時まで)の騒音に係る基準値は、**エ** デシベル以下である。

	ア	イ	ウ	エ
1	1 / 10	1 / 25	1000 ~ 1500	60
2	1 / 10	1 / 20	300 ~ 750	60
3	1 / 10	1 / 15	1000 ~ 1500	65
4	1 / 7	1 / 25	150 ~ 300	65
5	1 / 7	1 / 20	300 ~ 750	55
6	1 / 7	1 / 15	150 ~ 300	60
7	1 / 5	1 / 25	300 ~ 750	55
8	1 / 5	1 / 20	1000 ~ 1500	65
9	1 / 5	1 / 15	150 ~ 300	55

[問 2] 我が国の伝統的な住居に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の**1**～**5**のうちのどれか。解答番号は 。

- ア** 武家住宅の建築様式で、上段の間に床、違い棚、付書院、帳台構えを設け、襖障子、明障子を用い、畳を全面に敷きつめている住宅を「数寄屋造」という。
- イ** 明治後期からみられる接客を中心とした住宅で、接客の場である「表」と家族の生活の場である「奥」が明確に分けられている住居を「中廊下型住宅」という。
- ウ** 主屋を中心に東西と北の対屋とが廊下でつながっており、蔀戸で囲われた部分は固定的な間仕切りがなく、家具・調度類で区切って使われた住居を「寝殿造」という。
- エ** 間口が狭く奥に長い建て方で、通り庭に沿って部屋が並び、採光や通風の目的で坪庭が設けられた住居を「町屋」という。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 イ・ウ
- 4 イ・エ
- 5 ウ・エ

**5** 子供の発達に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 子供の身体の発達に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、適切なものには①を、適切でないものには②をそれぞれマークせよ。解答番号は**ア**が 、**イ**が 、**ウ**が 、**エ**が 。

**ア** 出生時の脳の重さは約350～400gで、5歳から6歳で成人の脳の重さの約90%に達する。脳の発達は、脳重量の増加だけでなく、脳神経細胞の発達を促す手や運動機能の発達、言葉の発達などとも密接に関係している。

**イ** 出生時の体重は、約3000gであるが、生後3日から5日くらいで体重が3%から10%減少する。これを生理的体重減少という。また、出生時の体重が2000g未満の新生児を極低出生体重児という。

**ウ** 乳歯は、生後6か月頃から生え始める。生える順序には個人差はあるが、下の前歯から生えることが多い。乳歯は2歳6か月から3歳頃までに生えそろう、上下で20本となる。

**エ** 新生児の頭蓋骨には骨と骨との間に隙間があり、これを泉門という。前頭骨と頭頂骨との間にある隙間を大泉門、後頭骨と頭頂骨との間にある隙間を小泉門という。大泉門は生後6か月頃に、小泉門は生後1年半頃に閉じる。

[問 2] 次の図は、パーテンの「保育所での子供の遊びの形態」について示したものであり、図中のア～オには下のA～Eのいずれかの遊びの分類が当てはまる。ア～オと、A～Eとの組合せとして適切なものは、下の1～5のうちのどれか。解答番号は 14。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

(「保育所での子供の遊びの形態」『保育を深めるための心理学』(共栄書房)から作成)

- A 協同遊び
- B ひとり遊び
- C 平行遊び
- D 傍観的行動
- E 連合遊び

- |   |     |     |     |     |     |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1 | ア－B | イ－C | ウ－A | エ－D | オ－E |
| 2 | ア－B | イ－D | ウ－C | エ－E | オ－A |
| 3 | ア－B | イ－D | ウ－E | エ－C | オ－A |
| 4 | ア－D | イ－B | ウ－A | エ－C | オ－E |
| 5 | ア－D | イ－B | ウ－C | エ－E | オ－A |

6 高齢者の福祉に関する次の問に答えよ。

[問] 次の表は、我が国における高齢者に関する法律等に関してまとめたものであり、表中の空欄 **ア** ~ **エ** には下のA~Gのいずれかの記述が当てはまる。**ア** ~ **エ** と、A~Gとの組合せとして適切なものは、下の**1**~**4**のうちのどれか。解答番号は **15** 。

1963年	老人福祉法公布
1991年	育児・介護休業法公布
1995年	<b>ア</b> 公布
1997年	介護保険法公布
2000年	介護保険制度施行
2005年	介護保険法改正 <b>イ</b> の重視 <b>ウ</b> の創設
2006年	<b>エ</b> 施行
2012年	認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）策定

- A 介護予防
- B 高齢社会対策基本法
- C 高齢者虐待防止法
- D 地域医療支援センター
- E 地域福祉
- F 地域包括支援センター
- G 老人保健法

- |          |              |              |              |              |
|----------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| <b>1</b> | <b>ア</b> - B | <b>イ</b> - A | <b>ウ</b> - F | <b>エ</b> - C |
| <b>2</b> | <b>ア</b> - B | <b>イ</b> - E | <b>ウ</b> - F | <b>エ</b> - G |
| <b>3</b> | <b>ア</b> - C | <b>イ</b> - A | <b>ウ</b> - D | <b>エ</b> - B |
| <b>4</b> | <b>ア</b> - G | <b>イ</b> - E | <b>ウ</b> - D | <b>エ</b> - B |

**7** 消費生活・環境に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の消費者関連の法律に関する記述**ア・イ**と、その法律名A～Dとの組合せとして適切なものは、下の**1～8**のうちのどれか。解答番号は **16**。

**ア** この法律において、「消費者市民社会」とは、消費者が、個々の消費者の特性及び消費生活の多様性を相互に尊重しつつ、自らの消費生活に関する行動が現在及び将来の世代にわたって内外の社会経済情勢及び地球環境に影響を及ぼし得るものであることを自覚して、公正かつ持続可能な社会の形成に積極的に参画する社会をいうと定義されている。

**イ** この法律では、消費者の権利として、消費生活における基本的な需要が満たされ、健全な生活環境が確保される中で、安全の確保、選択の機会の確保、必要な情報の提供、教育の機会の確保、意見の反映、被害の救済が位置付けられ、消費者の権利の尊重と消費者の自立の支援を消費者政策の基本とすることが規定されている。

- A 消費者契約法
- B 消費者基本法
- C 特定商取引法
- D 消費者教育の推進に関する法律

- |   |     |     |
|---|-----|-----|
| 1 | ア－A | イ－B |
| 2 | ア－A | イ－D |
| 3 | ア－B | イ－A |
| 4 | ア－B | イ－C |
| 5 | ア－C | イ－A |
| 6 | ア－C | イ－D |
| 7 | ア－D | イ－B |
| 8 | ア－D | イ－C |

[問 2] 次の表は、ある世帯の 1 か月の実支出を表したものである。このときのエンゲル係数は、**1718.19** [%] となる。ただし、小数第 2 位を四捨五入して小数第 1 位まで求めよ。

項目	金額 [円]
食料	85,446
住居	23,960
光熱・水道	21,024
家具・家事用品	12,153
被服及び履物	14,135
保健医療	15,518
交通・通信	36,746
教育	19,626
教養娯楽	37,292
その他の消費支出	62,003
非消費支出	95,472
合計	423,375

## 特別支援教育の専門に関する問題

I 特別支援教育に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 個別の教育支援計画に関する次の記述ア～エのうち、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の 1～6 のうちのどれか。解答番号は  。

- ア** 個別の教育支援計画は、特別な教育的支援を必要とする児童・生徒一人一人の教育的ニーズを具体的な指導に反映させるために、単元や学期、学年ごとに学級担任が作成するものである。
- イ** 個別の教育支援計画は、障害のある児童・生徒一人一人のニーズを正確に把握し、教育の視点から適切に対応していくという考えの下、長期的な視点で乳幼児期から学校卒業後までを通じて一貫して的確な教育的支援を行うことを目的として作成されるものである。
- ウ** 個別の教育支援計画は、特別支援学校に在学する児童・生徒については作成しなければならないが、小・中学校若しくは義務教育学校又は中等教育学校の前期課程における特別支援学級の児童・生徒と、小・中学校及び高等学校において通級による指導が行われている児童・生徒については、必要に応じて作成するものとされている。
- エ** 個別の教育支援計画は、教育のみならず、福祉、医療、労働等の様々な側面からの取り組みが必要であり、関係機関、関係部局の密接な連携協力を確保することが不可欠であるとともに、作成に当たっては、保護者の積極的な参画を促し、計画の内容について保護者の意見を十分に聞いて計画を作成又は改訂することが必要である。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ



[問 2] 次の記述**ア**～**エ**のうち、「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」（中央教育審議会 平成24年7月）に照らして正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の**1**～**6**のうちではどれか。解答番号は  。

**ア** 共生社会とは、これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった障害者等が、積極的に参加・貢献していくことができる社会であり、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会のことをいう。

**イ** インクルーシブ教育システムとは、人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするという目的の下、障害のある者が社会に貢献できるようにするための場を提供する仕組みのことである。

**ウ** インクルーシブ教育システムにおいては、共生社会の実現を追求することから、個別の教育的ニーズのある児童・生徒であっても、学校卒業後の自立と社会参加を見据えて、全ての児童・生徒が同じ場で同じ内容を共に学べるようなシステム構築や環境整備を行うことが求められる。

**エ** 特別支援教育を推進していくことは、子供一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うものであり、この観点から教育を進めていくことにより、障害のある子供や学習上又は生活上の困難のある子供だけではなく、全ての子供にとって、良い効果をもたらすことができるものと考えられる。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

[問 3] 障害のある人の生涯学習の推進に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、「障害者の生涯学習の推進方策について－誰もが、障害の有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会を目指して－（報告）」（文部科学省 学校卒業後における障害者の学びの推進に関する有識者会議平成31年3月）に照らして正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の**1**～**6**のうちではどれか。解答番号は  。

**ア** 障害のある人の学びの環境整備を行うに当たっては、社会でよりよく生きることができるよう、本人の学びたい内容ではなく、社会生活に即した内容の学習を行うことが大切であり、学びが円滑に進むように、支援者が中心となって課題等を精選し、適切に準備を行う必要がある。

**イ** 学校教育における学びと学校卒業後における社会での学びとは質や内容が異なるため、これまで学校で行われてきた教育内容とは切り離し、社会で求められる内容を踏まえて、学校卒業後の新たな環境で必要とされる知識や技能を生涯にわたって学び続けられるようにする必要がある。

**ウ** 障害のある人は、学校卒業後、企業等において就労したり障害福祉サービスを利用したりしながら社会生活を送ることが多いため、日々の生活において円滑かつ継続的に学ぶことができるよう、生涯にわたる学びと福祉や労働、医療などの分野における取組との連携を強化する必要がある。

**エ** 障害のある人の学びの場づくりを進めることと並行して、障害に関する社会全体の理解の促進を図ることが極めて重要であり、障害のある人がどのようなことに困難を感じており、どのような配慮や支援があれば周りの人と共に学んだり交流したりしやすくなるのか、といったことについて、家族や支援者などの関係者だけでなく、社会全体の理解を進めていく必要がある。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

**Ⅱ**

学習指導要領に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の記述**ア**～**エ**のうち、特別支援学校高等部学習指導要領の「総則」の「教育課程の編成」のうちの「生徒の調和的な発達の支援」に示されているものを選んだ組合せとして適切なものは、下の**1**～**6**のうちのどれか。解答番号は **23**。

**ア** 生徒相互のよりよい人間関係を育てるため、主に集団の場面で必要な指導や援助を行うカウンセリングと、個々の生徒の多様な実態を踏まえ、一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行うガイダンスの双方により、生徒の発達を支援すること。

**イ** 生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、道徳教育を要としつつ生徒が自己の在り方生き方を考える教育の充実を図ること。

**ウ** 生徒が、学校教育を通じて身に付けた知識及び技能を活用し、もてる能力を最大限伸ばすことができるよう、生涯学習への意欲を高めるとともに、社会教育その他様々な学習機会に関する情報の提供に努めること。

**エ** 複数の種類の障害を併せ有する生徒については、専門的な知識、技能を有する教師や特別支援学校間の協力の下に指導を行ったり、必要に応じて専門の医師やその他の専門家の指導・助言を求めたりするなどして、学習効果を一層高めるようにすること。

**1** ア・イ

**2** ア・ウ

**3** ア・エ

**4** イ・ウ

**5** イ・エ

**6** ウ・エ

[問 2] 次の記述ア～エのうち、特別支援学校高等部学習指導要領の「総則」の「教育課程の編成」のうちの「高等部における教育の基本と教育課程の役割」に示されているものとして適切なものには①を、適切でないものには⊖をそれぞれマークせよ。解答番号はアが  、イが  、ウが  、エが  。

**ア** 学校における体育・健康に関する指導を、生徒の発達の段階を考慮して、保健体育の時間において適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努めること。

**イ** 生徒の発達の段階を考慮して、生徒の多様な体験活動など、学習の基盤をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、生徒の学習習慣が確立するよう配慮すること。

**ウ** 学校における自立活動の指導は、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、自立し社会参加する資質を養うため、自立活動の時間はもとより、学校の教育活動全体を通じて適切に行うものとする。

**エ** 生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等並びに学校の基礎的環境整備や地域の実態を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとする。

Ⅲ

次の事例を読み、下の各問に答えよ。

生徒Aは知的障害特別支援学校中学部に在籍する知的障害のある生徒である。

生徒Aの様子

- ・ 知的障害の程度は、言葉での意思疎通が困難で、日常生活面など一部支援が必要。
- ・ 基本的な生活習慣はある程度自立しているが、衣服の着脱では教師の支援が必要。
- ・ 手先を使った活動では、①ぎこちなさや不器用さがみられる。
- ・ 音声言語は不明瞭で、発声や指さし、身振りやしぐさ、絵カード等で簡単なコミュニケーションをとろうとするが、②何を伝えたいのかが相手に伝わりにくいことが多い。
- ・ 音声言語による簡単な指示を理解することができる。
- ・ 集団での学習場面において、順番を待つなどのルールや決まり事を守るのが難しい。
- ・ 自分の気持ちや思いを一方向的に通そうとする場面がある。
- ・ 特定の教師との関わりが中心である。
- ・ 友達と協力して活動することが難しい。
- ・ 新しい場所や活動には不安になりやすく、積極的に取り組むことはあまりみられないが、見通しがもてるようになると集中して取り組むことができる。
- ・ 自分の思い通りにならないと情緒が不安定になり、混乱する場合がある。

(「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編(幼稚部・小学部・中学部)  
(文部科学省 平成30年3月)」から作成)

[問 1] 次の記述ア～エのうち、下線部①について、「生徒Aの様子」や知的障害の特性を踏まえた生徒Aへの指導として、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は  。

- ア 毎回違った手先を使う学習を用意して、飽きずに課題に取り組めるようにする。
- イ はさみを使う指導では、切る形を直線から曲線へと段階的に指導する。
- ウ ひもにビーズを通す活動などで、両手や目と手の協応動作ができるように指導する。
- エ 衣服の着脱では、ボタンはめができるように指導してから、ボタン外しを指導する。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

[問 2] 次の記述ア～エのうち、下線部②について、「生徒Aの様子」や知的障害の特性を踏まえた生徒Aへの指導として、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は  。

ア 欲しいものを要求する場面で、ふさわしい身振りを指導する。

イ 発声が要求の表現となるように、教師が意味付ける。

ウ 相手の立場に合わせた言葉遣いなど、場面にふさわしい表現方法を身に付けさせる。

エ 内言語や言葉の理解には困難がないので、補助的手段を活用して意思の表出を促す。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

[問 3] 生徒Aは、高等部での学習や卒業後の生活を想定すると、他者からの指導や助言を受け入れられる人間関係の形成を図りながら、集団への参加を促し、ルールを守ることなどといった社会性を身に付けていく必要がある。そこで現時点で指導すべき目標を「教師や友達からの助言を受けながら、落ち着いて順番を守ることができる。」と設定した。この目標を達成するための具体的な指導内容として、次の記述ア～エのうち、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は  。

ア 状況に合わせてながら、友達に伝えたいことを絵カードから選択して伝える。

イ 文章で手順の書かれたメモを用意し、自分で読み上げながら作業をする。

ウ 学習場面で絵カードを用いて見通しをもてるようにし、順番を意識できるようにする。

エ 「うれしい」「くやしい」といった感情を教師と共有し、感情に名前があることを知る。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

**IV** 障害に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 視覚障害のある児童・生徒に対する点字指導に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、「点字学習指導の手引（平成15年 改訂版）」（文部科学省 平成15年）に照らして正しいものを選んで組合せとして適切なものは、下の**1**～**6**のうちのどれか。解答番号は **31**。

**ア** 点字学習の導入に当たって、触運動の統制、触空間の形成、言語の発達などの点字学習のレディネスの形成が大切である。

**イ** 日本の点字は、日本語の音に一対一で対応しているので、「ラッパ」は2音、「きゅうきゅうしゃ」は3音のようにリズム打ちで理解させることが必要である。

**ウ** 点字の読みにおいて、点字盤の使用を考えて、初期の段階から両手読みではなく、利き手だけで読むことができるように指導していく。

**エ** 点字を書く学習の初期段階では、書いた点字を裏返さずにそのまま読むことができるため、凸面書きの点字タイプライタによる学習が効果的である。

**1** ア・イ

**2** ア・ウ

**3** ア・エ

**4** イ・ウ

**5** イ・エ

**6** ウ・エ

[問 2] 聴覚障害者である児童・生徒に対する指導上の配慮事項に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）（文部科学省 平成30年3月）に照らして正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の**1**～**6**のうちではどれか。解答番号は  。

**ア** 意思の相互伝達には、聴覚活用、読話、発音・発語、文字、キュード・スピーチ、指文字、手話などの方法があるが、指文字、手話など視覚を中心とした方法は必ず選択・活用することが大切である。

**イ** 児童・生徒の保有する聴覚の活用では、必ずしも補聴器や人工内耳に限らず、例えば、水泳等の補聴器を装用できない場合の指導においては、教師の声を直に聞かせるようにすることなども含んでいる。

**ウ** 視覚等を有効に活用するため、視聴覚教材や教育機器、コンピュータ等の情報機器や障害の状態に対応した周辺機器を適切に使用することによって、指導の効果を高めることが大切である。

**エ** 言葉の意味を理解したり、それによつて的確な言語概念を形成したりするためには、できるだけ多くの言葉を覚え、体験していない事柄なども言葉で表現できるようにすることが大切である。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ



[問 3] 肢体不自由の主な起因疾患と特徴に関する記述として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は  。

- 1 発育過程における脳の形成異常や様々な原因による脳損傷の後遺症を原因とする、進行性の脳の病変に基づく運動と姿勢の異常を脳性まひという。
- 2 遺伝性で、かつ筋原性の変性疾患であり、性染色体性のデュシャンヌ型及び筋強直性と、常染色体性の福山型及びベッカー型に大別される病態を筋ジストロフィーという。
- 3 椎弓の一部及び棘突起を欠損して脊柱管の後方の骨性保護が欠けたもので、嚢胞性と潜在性に大別される病態を二分脊椎という。
- 4 下半身の部分的な骨脆弱性、易骨折性を特徴とする疾患群で、コラーゲンの遺伝子異常により発症する病態を骨形成不全症という。

[問 4] 知的障害者である児童・生徒に対する教育を行う特別支援学校で行っている「各教科等を合わせた指導」に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の**1**～**6**のうちではどれか。解答番号は 

34
----

。

**ア** 日常生活の指導は、生活科を中心として各教科等の内容が取り扱われ、衣服の着脱、手洗いなどの基本的な生活習慣の内容や、挨拶、きまりを守ることなどの日常生活や社会生活において必要かつ基本的な内容を計画的に指導することで、児童・生徒の日常生活が充実し、高まるようにするものである。

**イ** 遊びの指導は、遊びを学習活動の中心に据えて取り組むことを通して、心身の発達を促していくものであり、指導の成果が、学習面、生活面の基盤となるよう、指導者が常に場や遊具等を限定することが必要である。

**ウ** 生活単元学習は、児童・生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的・体系的に経験することによって、自立や社会参加のために必要な事柄を実際の・総合的に学習するものであり、広範囲に各教科等の目標や内容が扱われる。

**エ** 作業学習は、作業活動を学習活動の中心にしながら、児童・生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習するものであり、作業学習で学習したことの成果が児童・生徒の将来の進路先に直接つながるよう、作業技術を向上させることを目的とする。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

[問 5] 病弱者である児童・生徒に対する指導に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編（幼稚園・小学部・中学部）（文部科学省 平成30年3月）に照らして正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の**1**～**6**のうちではどれか。解答番号は  。

**ア** 小児がんの経験がある児童・生徒の場合、治療後に起きる成長障害や内分泌障害等の晩期合併症のリスクがあることを理解して、体調の変化や感染症予防等に留意するなど、病気の予防や適度な運動や睡眠等の健康管理を自らできるようにする必要がある。

**イ** てんかんのある児童・生徒の場合、定期的な服薬により発作はコントロールできることが多いが、短時間意識を失う小発作の場合には、発作が起きているのを本人が自覚しにくいことから、自己判断して服薬を止めてしまうことがあるため、定期的な服薬の必要性について理解させるとともに、確実に自己管理ができるよう指導する必要がある。

**ウ** 糖尿病の児童・生徒の場合、従来から多い2型とともに、近年は食生活や運動不足等の生活習慣と関連する1型が増加しているため、血糖値を毎日測定して、病状に応じた対応ができるようにするとともに、適切な食生活や適度の運動を行うなどの生活管理を主体的に行い、病気の進行を防止することが重要である。

**エ** 二分脊椎の児童・生徒の場合、尿路感染の予防のために排泄指導、清潔の保持、水分の補給及び定期的に検尿を行うことに関する指導をするとともに、座位を変えることにより褥瘡じよくそうができることがあるため、頻繁に姿勢変換を行わないよう指導する必要がある。

1 ア・イ

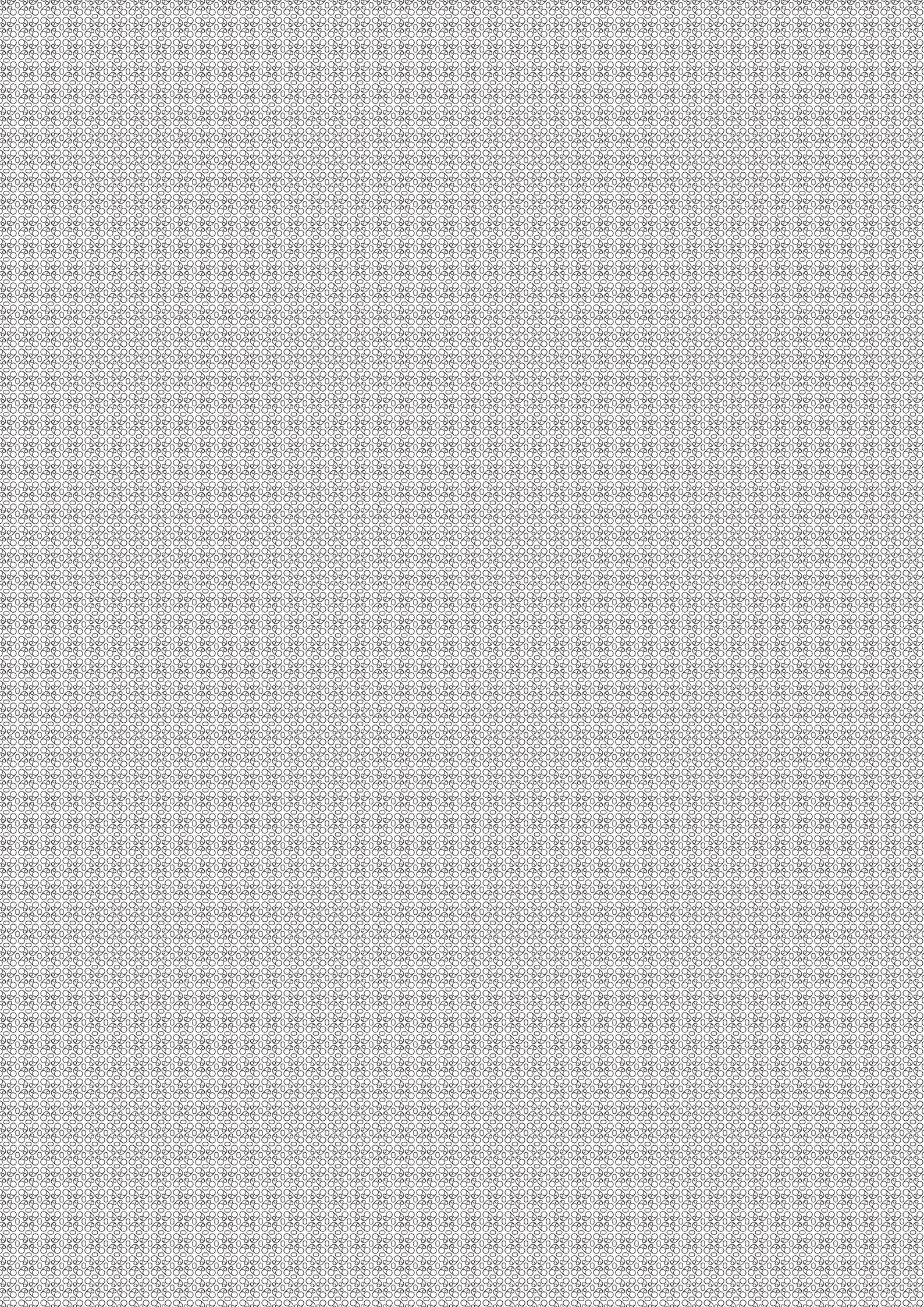
2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ



3 問題文中の  $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$  などの  $\square$  には、数字又は符号（-）が入ります。次の(1)~(4)の方法でマークしてください。

(1)  $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……の一つ一つは、それぞれ1~9、0の数字又は符号（-）のいずれか一つに対応します。それらを  $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、 $\boxed{234}$  に -84 と解答する場合には、次の(例2)のようにマークします。

(例2)

解答番号	解答欄
$\boxed{2}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{3}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{4}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

なお、同一の問題文中に  $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$  などが2度以上現れる場合、原則として、2度目以降は、 $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$  のように細字で表記します。

(2) 分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、 $\frac{\boxed{56}}{\boxed{7}}$  に  $-\frac{4}{5}$  と解答する場合には、 $\frac{-4}{5}$  として、次の(例3)のように

マークします。

(例3)

解答番号	解答欄
$\boxed{5}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{6}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{7}$	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

(3) 小数の形で解答する場合は、特に指示されていなければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで⑩にマークしてください。

例えば、 $\boxed{8.910}$  に 2.6 と解答する場合には、2.60 として答えてください。

(4) 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。

4 「ただし、選んだ数字の小さい順にマークすること。解答番号は  $\boxed{11}$ 、 $\boxed{12}$ 、 $\boxed{13}$ 。」と表示のある間に対して、2と5と8と解答する場合には、次の(例4)のように「②、⑤、⑧」の順にマークします。

このとき、「②、⑤、⑧」以外の「⑤、②、⑧」や「⑧、②、⑤」などの順にマークした場合には、不正解となります。

(例4)

解答番号	解答欄
$\boxed{11}$	① ● ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{12}$	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{13}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖

## 2（3採用）【特別支援学校 家庭】

問題番号		解答番号	正答1	正答2	正答3	配点	備考
大問番号	小問番号						
1	問1	1	3			4	
	問2	2	5			4	
2	問	(1)	3			3	
		(2)	4	5		4	
		(3)	5	4		4	
3	問1	6	3			4	
	問2	7	4			4	
4	問1	8	5			4	
	問2	9	5			4	
5	問1	ア	10	1		2	
		イ	11	-		2	
		ウ	12	1		2	
		エ	13	-		2	
	問2	14	5			4	
6	問	15	1			4	
7	問1 問2	16	7			4	完全解答
		17	2			5	
		18	6				
		19	1				
I	問1	20	5			3	
	問2	21	3			3	
	問3	22	6			3	
II	問1	23	6			3	
	問2	ア	24	-		1	
		イ	25	-		1	
		ウ	26	1		1	
		エ	27	-		1	
III	問1	28	4			3	
	問2	29	1			3	
	問3	30	2			3	
IV	問1	31	3			3	
	問2	32	4			3	
	問3	33	3			3	
	問4	34	2			3	
	問5	35	1			3	